

「将来のまちの姿」と「基本目標」を考える上での「項目・施策」の参考例

基本目標	アクションプラン項目・施策(アクションプラン Ver.3 P11 参照)
基本目標 1 <u>自分らしい</u> <u>生き方の実現</u> 社会生活の不利をなくし 個々の特性に合わせた 誰もが尊重される 社会づくり	1-4 情報の発信・提供 (1) 様々な工夫を凝らしたわかりやすい情報の提供 (2) 様々な伝達手段（ICT、通訳、手話等）を活用した情報の提供 (3) 日常生活に役立つ情報の提供 (4) やさしい日本語を活用した情報の提供 1-5 人権や尊厳を尊重し多様性を認め合う関係づくり (1) 多様性を認め合う共生社会の実現に向けた理解・啓発 (2) 障がいや理由とする差別の解消 (3) 講座等の実施による福祉・人権理解の普及・教育の実施 3-3 行政サービスのユニバーサルデザイン (1) ユニバーサルデザインに配慮した行政サービスの改善
基本目標 2 <u>分かりやすく、</u> <u>使いやすいまちづくり</u> 個々の状況の違いによる 不便が生じない 移動・利用環境の整備	2-1 安全で楽しいみち・場所・空間づくり (1) ユニバーサルデザインの視点による道路の整備や維持補修 (2) 公共的空間におけるユニバーサルデザインの推進 (3) 誰もが利用しやすい安全で快適な商店街づくり (4) 多くの人が集まる拠点（場所・施設）のユニバーサルデザインの推進 2-2 ユニバーサルデザインの公共的施設づくり (1) 公共的施設におけるユニバーサルデザインの積極的導入 (2) ユニバーサルデザインの視点に立った公共的施設の活用、利用促進 1-3 区民・事業者・地域の団体等・区が協働で取り組む普及・啓発 (2) 施設のユニバーサルデザインの促進 (3) 誰もが住みやすい住宅のユニバーサルデザインの促進 (4) 公共的空間におけるルールやマナーの普及・啓発活動の推進 2-3 円滑に移動できる施設・設備としくみづくり (1) 誰もが利用しやすい移動施設・設備の整備・充実 (2) 自転車と歩行者が共存するための環境整備 2-4 まちなかをわかりやすくする案内・サインの充実 (1) 誰にもわかるまちなか情報の提供
基本目標 3 <u>取組みが持続する</u> <u>仕組みづくり</u> 様々な背景を持つ多様な 人々の安全と利用を支える 仕組みの土台づくり	1-1 ふれあいでわかり合える区民の交流促進 (1) ユニバーサルデザインのイベント開催及び活動支援 (2) 社会参加活動や自立支援の体制づくり 1-2 楽しく学べるユニバーサルデザインの教育推進 (1) ユニバーサルデザインを理解する機会づくり（講座等） (2) 誰もが参加しやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れた学ぶ場づくり (3) 多様なユニバーサルデザイン教育、研修等機会づくり 1-3 区民・事業者・地域の団体等・区が協働で取り組む普及・啓発 (1) UD パートナー等区民と協働のユニバーサルデザインのまちづくり点検の実施 (5) ユニバーサルデザインに関する地域活動の発信 (6) 避難行動要支援者対策の推進 3-1 地域力を活かしたユニバーサルデザイン推進体制づくり (1) ユニバーサルデザインのまちづくりを推進する協働の体制づくり (2) ユニバーサルデザインのスパイラルアップのしくみづくり 3-2 区民参加による地域力を活かす組織づくりと人材育成 (1) ユニバーサルデザインのまちづくり推進の担い手の育成 (2) UDパートナー等によるユニバーサルデザインの普及・啓発活動の推進 3-3 行政サービスのユニバーサルデザイン (2) 区職員へのユニバーサルデザインに関する研修、体験の実施